

現行←→見直し案

戦略
3切れ目のない子育て支援をはじめとした
「こどもまんなか社会」の実現「こどもの居場所」箇所数
(出典:徳島県調べ)2022年度実績
98箇所2028年度目標
180箇所

指標の説明

子ども食堂やフレーパーク、フリースクールなど、地域における安全安心な交流の場の数
多様な居場所の増加が、子どもの健やかな成長につながることから、この指標を選定

設定の考え方／得られる成果

各小学校区に1箇所程度の設置を目指し、目標値を設定
この目標達成により、子ども食堂をはじめとした「こどもの居場所」が、子どもの通える範囲にすることで、より身近なものになり、地域で子ども達を見守る社会づくりに寄与

「こどもの居場所」箇所数
(出典:徳島県調べ)2022年度実績
98箇所2028年度目標
240箇所

指標の説明

設定の考え方／得られる成果

「こどもの居場所」のうち、子ども食堂は全国トップレベルを見据え、人口10万人あたり30箇所を目指す。また、その他フレーパークなどの更なる増加も含めて、目標値を設定
この目標達成により、子ども食堂をはじめとした「こどもの居場所」が、子どもの通える範囲にすることで、より身近なものになり、地域で子ども達を見守る社会づくりに寄与

戦略
4

グリーン社会の構築

ジビエ加工施設での処理頭数
(出典:徳島県調べ)2022年度実績
1,855頭2028年度目標
2,200頭

指標の説明

県内のジビエ加工施設での年間処理頭数
処理頭数の増加が、本県のシカやイノシシの捕獲・ジビエ利用を推進する施策の成果を示すことから、この指標を選定

設定の考え方／得られる成果

2022年の実績値を踏まえ、毎年3%増やすことをを目指し、目標値を設定
この目標達成により、捕獲鳥獣の活用拡大、農林水産物等の被害軽減に寄与

ジビエ加工施設での処理頭数
(出典:徳島県調べ)2022年度実績
1,855頭2028年度目標
2,500頭

指標の説明

設定の考え方／得られる成果

県内のジビエ加工施設での年間処理頭数
処理頭数の増加が、本県のシカやイノシシの捕獲・ジビエ利用を推進する施策の成果を示すことから、この指標を選定
この目標達成により、捕獲鳥獣の活用拡大、農林水産物等の被害軽減に寄与

【修正理由】

2024年度実績値を踏まえ、KPIの上方修正を行う。